

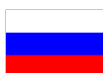
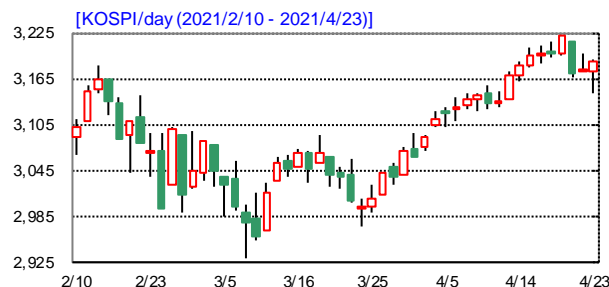


【韓国】 総合指数は 0.4%安と 5 週ぶり反落、過去最高値水準で上値は重いか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 0.4%安と 5 週ぶりに反落した。21 日は前日比 1.5%安と大きく下げたが、週を通じて底堅く推移した。ドル安を受けた海外からの資金流入などを背景に 20 日まで 7 営業日続伸と好調で、20 日は終値で過去最高値を更新した。ただ、一服感から利益確定の売りが相場の重しとなったほか、インドや日本、韓国、南米などを中心に新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることが嫌気された。個別では、現代自動車が 22 日に発表した 2021 年 1-3 月期決算は純利益が前年同期比 187%増と好調だったが、車載半導体の不足を巡る問題が懸念された。今週は 27 日に消費者信頼感指数、28 日に業況判断指数がそれぞれ発表される予定。過去最高値水準とあって、引き続き利益確定の売りが相場の重しとなりそうだ。

▼指数チャート

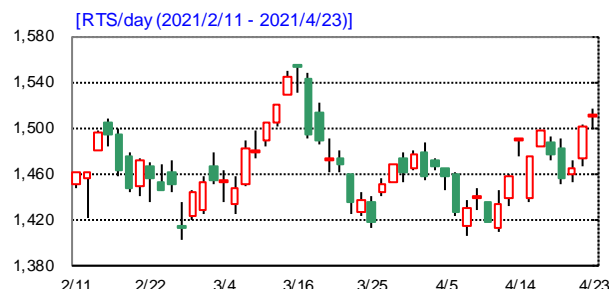


【ロシア】 RTS 指数は 1.0%高と続伸、今週は商品相場をにらんでもみ合いか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.0%高と続伸。原油安が重しとなったが、銅・アルミ相場の上昇や米ドル安が奏功し、米ドル建てで取引される RTS 指数を押し上げた。前週に指数が 5.6%高と大幅に反発しことで高値警戒感が強まる中、原油安も重しとなり、週前半に続落。その後は米ドル安・ルーブル高が進んだことで指数は 3 日続伸。23 日は 3 月 18 日以来となる 1516.65 ドルまで上昇し、1511.85 ドルで終了した。ブレント原油が 1.0%下落した一方、ルーブルは対米ドルで 1.4%上昇した。個別では、VTB 銀行が 8.2%高、ダイヤモンド採掘のアルロサが 6.5%高、鉄鋼のセヴェルスターリが 6.4%高となった一方、エネルギーのロスネフチが 3.0%、ノバテクが 2.1%下落した。今週は商品市況や為替相場をにらんでもみ合いか。

▼指数チャート



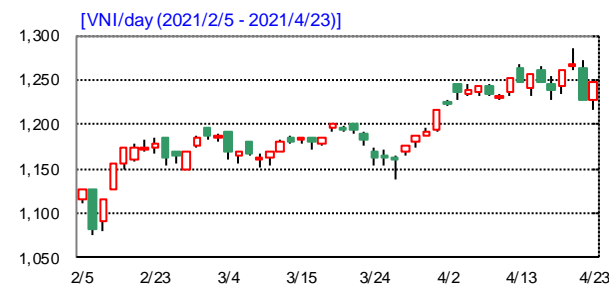
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 0.8%高と 4 週続伸、今週も先高観を背景に堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.8%高と 4 週続伸。利益確定売りで急落する場面もあったが、20 日には終値の過去最高値を更新した。最高値の更新はこれで 4 週連続となる。前週まで 3 週連続で過去最高値を更新した VN 指数は 19 日に前営業日比 1.8%高、20 日に 0.6%高と続伸し、連日で最高値を更新。ただ、休場明けの 22 日は主力優良株に利益確定の売りが強まり、指数は 3.2%安と急落した。23 日は不動産銘柄や金融株が買われ、指数は 1.7%高と反発し、週間ベースでプラス圏に浮上した。個別銘柄では金融のベトコム・バンクが 8.0%高、鉄鋼のホア・ファット・グループが 3.3%高。一方、ゴム製品のベトナム・ラバーが 4.9%安、ベトナム航空が 4.4%安、金融のベトインバンクが 1.7%安となった。今週も先高観を背景に堅調な展開か。

▼指数チャート



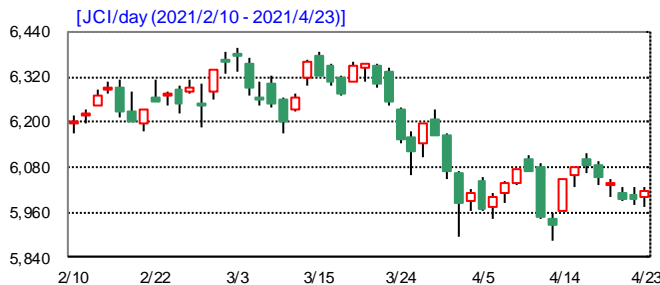


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.1%安、政策金利は過去最低水準の 3.50%に据え置き

ジャカルタ総合指数は週間で 1.1%安と 3 週ぶりに反落。週後半に買い戻されたが補えなかった。週初の 19 日は、中央銀行の定例会合を翌日に控えた様子見で、指数は 4 営業日ぶりに反落。20 日は中銀が今年の経済成長率の見通しを引き下げたほか、政策金利が過去最低水準の 3.50%に据え置かれた影響で金融株を中心に売り優勢となり続落した。21 日も下げ止まらず、終値で節目の 6000 ポイントを割り込んだが、22 日は 4 日ぶりに小幅反発。23 日は続伸して取引を終えた。今週は国内の重要イベントが少なく、27-28 日に開催される米 FOMC や 29 日発表の米国の 1-3 月期の GDP 速報値が焦点になりそうだ。

▼指数チャート

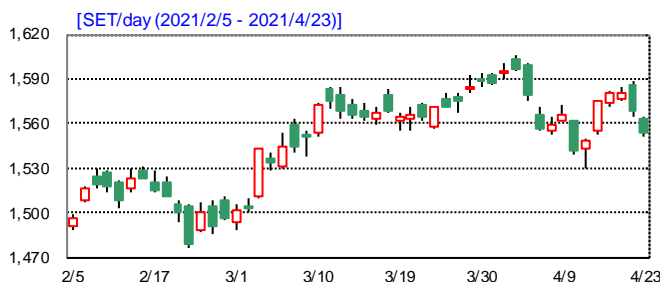


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.3%高、今週は 28 日に 3 月の鉱工業生産発表

SET 指数は週間で 0.3%高と 3 週ぶりに反発。週前半の上昇が指数を支えた。週初の 19 日は、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて前日から経済活動の制限が強化されたものの影響は小さく、指数は前営業日比 1.7%高と続伸。20 日も買い優勢の展開が続いたが、21 日に小幅反落すると、22 日は金融株とエネルギー株が下げを主導した。23 日は 3 月の輸出入額（通関ベース）が市場予想から上振れしたが買い材料視されず、3 日続落して取引を終えている。今週は 28 日に 3 月の鉱工業生産が発表される予定。外部要因では、OPEC プラス閣僚級会合や中国の 4 月の公式製造業 PMI が意識されそうだ。

▼指数チャート

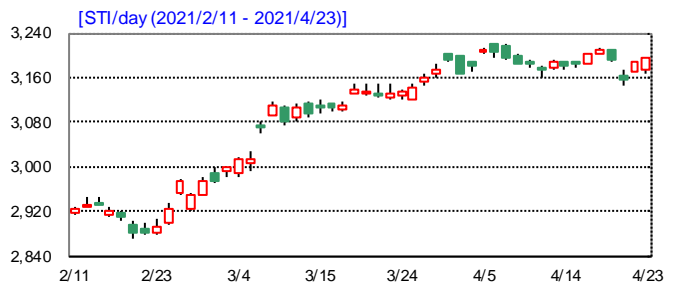


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.2%安、交通大手のコンフォートデルグロに買い

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.2%安と 9 週ぶりに反落。週後半に上昇し、下げ幅を縮めた。週初の 19 日は 3 営業日続伸した一方、20 日は前日の NY ダウが下落した流れで反落。21 日は前日に深セン農村商業銀行の株式 13%を取得すると発表した DBS グループが売られたほか、アジアでの新型コロナウイルスの感染者数増加も嫌気され、指数は前日比 1.2%安と続落した。ただ、22 日はタクシー事業のサービス拡大を発表したコンフォートデルグロが指数上昇をけん引し、前日比 1.0%高と 3 日ぶりに反発すると、23 日は小幅続伸している。今週は 26 日発表の 3 月の鉱工業生産に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

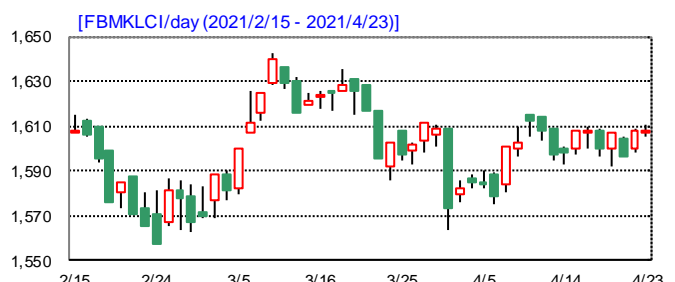


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.003%高、今週は 3 月の貿易統計に期待

クアラルンプール総合指数は週間で 0.003%高と前週からほぼ横ばい。1 週間を通じて狭いレンジでの値動きとなった。週初の 19 日は、国内の新型コロナウイルスの感染者数が高止まりしていることが売り材料視され、指数は 4 営業日ぶりに反落。その後 1600 ポイントを挟んだもみ合いが続く中、21 日は 5 営業日ぶりに終値で 1600 ポイントを割り込んだが、22 日はゴム手袋メーカー株が指数上昇をけん引し、この水準を回復した。週末の 23 日は小幅続伸して取引を終えている。今週は 28 日に 3 月の貿易統計が発表される予定で、市場予想から上振れすれば好材料。29 日はコーランの啓示日のため休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。